

第5次亀岡市総合計画検討特別委員会

日 時 令和2年10月21日（水） 午後1時30分～
場 所 全員協議会室

1 質疑項目について

(1) 基本構想（6項目 No.1, 5, 8, 12, 24, 29）

2 その他

第5次亀岡市総合計画検討特別委員会 審査日程（案）

日 時		内 容	担当部
10月21日	(水)	午後1時30分	・ 基本構想 企画管理部 (No.1, 5, 8, 12, 24, 29)
10月22日	(木)	午前10時	・ 基本計画 第1章 生涯学習部 (No.36, 41)
			・ 基本計画 第2章 総務部 (No.48)
			・ 基本計画 第3章 健康福祉部 (No.61)
			・ 基本計画 第4章 生涯学習部 (No.71, 72)
		午後1時	・ 基本計画 第4章 教育部 (No.65, 66)
			・ 基本計画 第8章 企画管理部 (No.80)
・ 全 体 企画管理部 (No.81, 82)			

※企画管理部は全体を通して出席

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】 特別委員会質疑項目

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
1 (2)	企画管理部	共産党議員団	1.5	1計画の目的 第2章 亀岡市を取り巻く社会 経済の潮流 5 地球環境問題の深刻化	第4次総合計画の基本構想と基本計画の全面的な総括をし、「計画の目的」の前に明記すべき。 冒頭に、少子化、高齢化、ICT化、東京一極集中に対する地方創生の必要性、大規模災害への備え、withコロナの重要性などが書かれているのは良いが、地方創生と関わって、持続可能な地域循環型の社会、経済、環境の必要性を説くとともに、温室効果ガスやマイクロプラスチックなどによる地球規模の環境破壊の危機にも触れられたい。 その上で、SDGs(持続可能な開発目標)の達成年限、亀岡市プラスチックごみゼロ宣言の目標年限が、総合計画目標年限の2030年と重なることに触れ、それらとの深い関連のもとに計画を立てていくことを記述されたい。 SDGsを冒頭の目的に記述するとして、環境問題に特化してSDGsを紹介せず削除。下部のSDGsの説明はP1の目的の下部で記載する。	
5	企画管理部	会派に属さない議員	3～6	「亀岡市を取り巻く社会経済の潮流」と全体	日本全体の社会経済について述べるのも必要かもしれないが、重要なのは本市の課題についての数値やグラフ、図を用いて、現状分析と報告があつてしかるべきと思う。基本計画にはそれぞれ節ごとに現状と取り組むべき課題があるが、全体的なところでそれが記載されていない。	
8 (10)	企画管理部	共産党議員団	9～10	第4章 亀岡市の人口の見通し 1 10年後の定住人口 転出超過が段階的に解消され、2030年に転出入が均衡し、かつ合計特殊出生率が1.32から1.8まで向上すると仮定した場合、本市の人口は約81,000人になると推計されます。 2 活力・にぎわいを支える人口施策	1. 8の根拠が不明。なぜ1. 8になるのか説明が必要。人口を81,000人にするための1. 8としか読めない。 合計特殊出生率を1.8まで引き上げることは相当な努力を要すると思うが、人口設定との関わりで1.8まで引き上げることや、そのための方策が何も書かれていない。これは重要なことだと考えるが、しっかりと記述すべきである。 また、合計特殊出生率が高い自治体の施策をよく研究して市の施策に取り入れる姿勢をもつべきである。	

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】 特別委員会質疑項目

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
12 (13)	企画管理部	共産党議員団 公明党議員団	12	第1章 目指す都市像 人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡	○目指す都市像として掲げている「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」は、わかりにくい。 ○市民参加と住民自治に則って目指す都市像を形成していく趣旨の文言を、SDGsの趣旨からして、総論的なこの部分で追加記述すべきである。 ○「リーディング」の語源の「lead」には、ある者が他の者を導くという他動詞の意味と、ある者が自ら秀でるという自動詞の意味がある。本市が他の市町を導くという意味に解されるおそれがあることに違和感を持つ。審議会の検討を経てこの表現にされた経緯を尊重するとして、また第1章の文章は全体として自動詞の意味で「リーディングシティ」と言っていると理解できるが、その意味をより明確にするように文言を補強するのがよい。	
24 (25)	企画管理部	共産党議員団	21	第3部 施策の基本方針 第1～8	全般に市民参画の視点が少ない。市政や行財政に積極的に関わったり意見を述べたり提案したりする市民の数を具体的に増やすなど、市民が主人公の視点を各所に記すべき。行政の協働に対する姿勢は、行政の都合のよいように市民や地域を利用するのではなく、住民自治を支援するという視点を持ち、もっと積極的に市民や地域の中に入り信頼関係を築くことが必要。	
29	企画管理部	共産党議員団	25	施策の基本方針第5 地球環境・省エネルギー 資源循環・廃棄物処理 自然環境	○第5章は2030年を目指す「地球にやさしい環境先進都市づくり」のタイトルにふさわしいように、最近の「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」などの取組も踏まえて、第1節～第3節の編成を、各節の各項の相互の入替を含め、編成替えをしてはどうか。 ○たとえば、基本計画「低炭素化のまちづくり」の項(P42)や「『かめおかプラスチックごみゼロ宣言』の推進」の項(P47)を含め第1節(タイトル変更)として打ち出し、第1節～第3節の各項の入替を含め構成の整理(各節のタイトルの若干の変更を含む)をしてはどうか。(※基本構想の中で回答。計画P42～47)	

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
3	企画管理部	公明党議員団	1	2 計画の性格 ◆市民の参画と協働による計画 ◆市民の視点に立った、わかりやすい計画 ◆市民ニーズを踏まえた重点課題を戦略的に取り組む計画	各◆計画のところに、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画のように説明を入れた方がよい。	
4	企画管理部	公明党議員団	2	3 計画の構成と期間 (2)計画の期間 図の基本計画⇄の中の (必要に応じて見直し) 4 基本計画の進行管理 基本計画は～必要に応じて見直すこととしています。	「必要に応じて見直す」ではなく、期間を決めて見直すべきではないか。	
6	企画管理部	共産党議員団	7	第3章 亀岡市の街づくりの進展 「スタジアムを核としたまちづくり」の記述	第3章の中で本項だけが令和2年までの経過や関連の記述に欠ける。スタジアムの近隣は遊水機能を有する地域で、水害防止やアユモドキ保全の努力が払われてきたこと、スタジアムの場所選定や関連工事の経緯を簡略に追記し、最後の文章は「(前略)亀岡市ならではの取組を行うに至り、三大観光(嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉)をはじめ多様な観光資源と合わせ、本市の新たな魅力を創出しています。」と一部文言を修正・追加すべきである。	
7	企画管理部	公明党議員団	9	第4章 亀岡市の人口の見通し (下から6行目) UIJターンや外国人労働者の増加などにより、転出超過が段階的に解消され、2030年に転出入が均衡し、かつ合計特殊出生率が1.32から1.8まで向上すると仮定した場合、本市の人口は約81,000人になると推計されます。	UIJターンや外国人労働者の増加、合計特殊出生率が1.32から1.8まで向上すると仮定した場合、それぞれ見込まれる数字を具体的に示すべきではないか。	

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
9	企画管理部	共産党議員団	9～10	第4章 亀岡市の人口の見通し 1 10年後の定住人口 最後の文節(P9)で「(前略)10年後の本市の人口見通しをおよそ77,000人から81,000人と設定(後略)」と記述する一方、「図表1 亀岡市の人口の将来推計」(P10)の「亀岡市人口シミュレーション」で「R12年81,352人」と記述している。	○左記のような文章(P9)の設定人口の記述と図表(P10)の推計人口の記述とは、平仄が合わない。本素案の考え方を尊重するとしても、「77,000人から81,000人と設定し、政策努力により81,000人を目指す」という趣旨で文章の記述と図表の記述を統一すべきである。 ○世間一般に「UIJターン」、「UJIターン」などの表記がみられるが、本計画では「U・J・Iターン」(全角・中点入れ)の表記として統一してはどうか。	
11	企画管理部	会派に属さない議員	11	「2活力・にぎわいを支える人口施策」(交流・関係人口の拡大)	新型コロナウイルスの影響と今後のwithコロナへの対策が記されていない。	
14	企画管理部	会派に属さない議員	13	「1子育てしたい、住み続けたいまちへ」	教育にも力を入れていく姿勢が見えない。子育て世代には重大な関心事項なので	
15	企画管理部	会派に属さない議員	13	「2スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」	城下町それも光秀公がつくった城下町も入れてほしい。	
16	企画管理部	共産党議員団	13	「2スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」	重点テーマとして焦点を絞った表現とするのは理解しうるが、とはいえ最低限次の記述を修正・追加すべきである。 「2 スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」の中で、「(前略)湯の花温泉をはじめとする多様な観光(後略)」と修正する。	
17	企画管理部	会派に属さない議員	13	「3世界に誇れる環境先進都市へ」	ポイ捨てのない美しいまちづくりに取り組むを挿入。	
18	企画管理部	共産党議員団	13	「4 だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」で、「だれもが・・・」と言いながら、在住外国人以外のことに触れていない。	「4 だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」で、高齢者、障がい者等を含む文言、「性差に関わらず」の文言を追加する。	

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
19	企画管理部	共産党議員団	13	「5次代をリードする新産業を創出するまちへ」で、地域で重要な役割を担う既存産業との関連に触れていない。	「5次代をリードする新産業を創出するまちへ」の中で、既存産業の振興との連携の趣旨の文言を追加する。	
20	企画管理部	共産党議員団	16～17	第3章 土地利用の基本方針 2 都市構造の基本方針 (2) 都市核、交流核の整備方向 ① 都市核 都市核の中に、商業・業務・健康・福祉・子育て・文化・スポーツなどの高次な都市機能を重点的に誘導する区域(都市機能誘導区域)をJR各駅周辺に設定し、当該区17域に市内全域からアクセスし易い条件を整えることにより、すべての市民が効率的に都市サービスを楽しむことができるコンパクトなまちづくりを進めます。	コンパクトシティは、集客施設や住宅を中心市街地に誘導集約し、郊外集落には公共交通ネットワークで結ぶ政策であるが、中心市街地への誘導だけが計画・実行され郊外集落が一層過疎化の恐れがある。	
21	企画管理部	公明党議員団	17	2 都市構造の基本方針 (2) 都市核、交流核の整備方向 ⑥ 広域ネットワーク網 京都都市圏に通じる京都縦貫自動車道に加えて、阪神大都市圏方面や整備が進捗する新名神高速道路に繋がる国道423号などの整備を促進します。	「国道423号を含む道路網の整備を促進します」とした方がよい。	

第5次亀岡市総合計画（素案）に係る意見 【基本構想】

No.	所管	会派	ページ	計画の内容	意見	回答
22	企画管理部	公明党議員団	18	3 ゾーン別地域振興の基本方針 (2)ゾーン別地域振興の方向 ②市街地ゾーン ②-1 ■振興方針 ・京都市方面等へのアクセス強化を目指した広域幹線道路の整備要請	「京都市方面等へのアクセス強化を目指した広域幹線道路の整備要請」の後に(国道9号のダブルルート化)を入れる。	
23	企画管理部	共産党議員団	19～20	第3章 土地利用の基本方針 3 ゾーン別地域振興の基本方針 ②市街地ゾーンの中で「②-2JR亀岡駅南側のゾーン」と「②-3JR亀岡駅北側のゾーン」とに分けて記述している。これらに対応するゾーン区分図(P20)	○従前に形成された亀岡駅南側と今後形成される亀岡駅北側とを区分する趣旨は理解しうが、南側と北側の一体的なまちづくりを促進する趣旨から「②-2」としてまとめた中で、南側と北側の記述をすべきである。なお、両方を通じて本項の「振興方針」等で水害対策の推進に言及すべきであろう。 ○ゾーン区分図(P20)においても、亀岡駅南側と北側とを1つの実線の楕円で囲んだうえ、それぞれを点線の楕円で囲むとよい。また、イメージ図とはいえ、市域の一部(西部の一部など)がゾーン別の楕円から外れているのはよくないー当該部分も包含する楕円を描くのがよい。	
26	企画管理部	公明党議員団	22	施策の基本方針第2 市民生活	第4次亀岡市総合計画の第4節 消費者保護の方が分かりやすい。(※基本構想の中で回答。計画P18)	
27	企画管理部	会派に属さない議員	23	施策の基本方針第3 医療体制	市立病院を軸とした医療体制の充実。	
28	企画管理部	公明党議員団	24	施策の基本方針第4 学校教育・就学前教育	第4次亀岡市総合計画のように、就学前教育・学校教育の方がよい。(※基本構想の中で回答。計画P31)	
30	企画管理部	共産党議員団	26	第3部 施策の基本方針 第6 活力あるにぎわいのまちづくり	活力あるまちづくりは、地域内再投資力を量的・質的に向上させるという観点が必要。こうした観点から、亀岡の中心産業である農業や商業など、深刻な状況におかれている地域経済を立て直し、活性化を図る施策が不十分。	
31	企画管理部	共産党議員団			カタカナ言葉が多すぎる。市民と共有しようとするならわかりやすい言葉で。	
32	企画管理部	新清流会			ユニバーサルカラー(見やすい色使い)を使って頂きたい。	